

Kia Ora!

(マオリ語で「こんにちは!」)

本書の使い方

どこからでも、何度でも

本書は全 12 ユニットから構成されています。まずはウォーミングアップとして、バスや郊外電車に乗ってオークランドのあちこちに出かけることをテーマとした Unit 1、オークランド大学附属語学学校 ELA の方々が学生さんへのメッセージや留学についての具体的なアドバイスを寄せてくださっている Unit 2, Unit 3 からはじめていただくことをオススメしますが、それ以外のユニットについては、どこから、どの順番で学んでいただいても構いません。授業の目標や、みなさんの興味・関心に応じて、学んでみたいユニットを自由にピックアップしてください。各ユニットの音声データは英宝社ウェブサイトからダウンロード可能です。さらに現地の息づかいを伝える動画データは YouTube で何度でも再生していただくことができます。授業のあとも、是非、くりかえしこれらのデータを活用して、どこからでも、何度でも、楽しみながら学んでください。

リスニングからはじめたい方は…

Unit 1 はバスや郊外電車のアナウンス音声ですが、Unit 2～7, Unit 9 は、実際のインタビュー音声をつかっています。つまり現地の人たちの「生の声」をつかったリスニングのユニットです。年齢、職業はもちろん、出身地も様々で、オークランド生まれではない人たちもたくさんいます。是非、多文化空間にあふれる母語話者と非母語話者の英語の両方に触れてください。なかにはことばに詰まったり、言い間違いをしたり、途中で考えがかわって言い替えたりする場面もたくさんでできます。そういった普段着の英語を体感していただくためのユニットです。

リーディングからはじめたい方は…

Unit 8, 10-11 は、現地の新聞 New Zealand Herald の記事をつかったリーディングのユニットです。オークランドの移民社会やマオリ文化に関するもので、ひとつずつ精読することでオークランド社会の現在を感じていただけたと思います。なお、本書の記事は、①句読点の表記等における不統一、②数字、表現等がウェブ版とは異なっている箇所が一部にみられますが、これは紙面のままに記載しているためです。ご了承ください。

留学準備・資格試験対策にも

またどのユニットでも、キーワード・キーフレーズをまとめた単語・熟語リスト、空所補充型の英作文問題をつけてありますので、基本的な文法事項を復習しながら無理なく語彙を増やすことができます。留学準備のため、また各種資格試験の準備にも活用してください。

思うところをことばに

最後に、各ユニットには【異文化理解】というセクションがついています。それぞれのユニットで学習したことをもとに、クラスで、グループで自由に討論するための素材です。ディスカッションのトピックとポイントを簡単に挙げてありますので、こちらを自由に活用して、多文化が交差するオークランドが私たちに見せてくれる、様々なことば、社会、文化事象について意見を交換してみてください。ディスカッションは日本語でも、英語でもよいと思います。

語学研修でも、留学でも、ワーキングホリディでも、インターンシップでも、海外に一步を踏み出し、多文化の空間のなかで学び、働こうと思うなら、「ことばにして思うところを伝える」ことが不可欠です。黙って様子を見ていたり、相手が察してくれるのを待っていたりするだけでは何もはじまりません。実は、海外に渡って日本人学生の多くが一番戸惑うのが、この部分なのです。最初は「そう思う」「そうは思わない」だけでもかまいません。本書の【異文化理解】のセクションを活用して、自ら発言する、少しずつ思うことをことばにして伝えることに慣れ、その楽しみを味わってほしいと思っています。

Best Wishes!

Unit 2

Language school (1)

Unit 2とUnit 3では、オークランド大学付属イングリッシュ・ランゲージ・アカデミー (The University of Auckland English Language Academy [以下ELA])のスタッフの方々からの、オークランド (ニュージーランド) で語学研修を計画している日本人学生に向けたメッセージを聞いてみましょう。ニュージーランドは多民族国家であるとよく言われますが、メッセージを寄せてくださったELAの2人のスタッフの出身はイギリスとカナダです。両方のメッセージに、多様性を表す“different” “differences”という言葉が使われています。また最初のメッセージでは“brave”という言葉が、そして2番目のメッセージでは「あらゆる機会 (opportunities) をとらえて」という言葉が繰り返されています。現地では、勇気を出して、あらゆる機会をとらえて、様々な場所で様々な国籍の人に英語で話してみましょう。

まず、イギリス出身のジュリー (Julie Haskel) のメッセージを聞いてみましょう。

Julie Haskel@English Language Academy (UK)

8 My name is Julie

(So, Julie, could you please introduce yourself?)

OK, Good morning! My name is Julie, Julie Haskel. I'm the director of the English Language Academy in Auckland.

9 My advice would be

(So Julie, could you give some advice for the Japanese students wishing to study in New Zealand, in particular, at the English Language Academy?)

OK, I think my advice would be for students to come with an open mind and to enjoy the differences and every day to be brave and to try something new; whether it's new food or to go to a different beach or a different museum and to really make the most of their time; take lots of photos and make lots of friends and be brave, speak English!



ELA 初日のオリエンテーション



最終日の授業評価風景

Words & Phrases

my advice would be 私がアドバイスするとしたら…になるでしょうね。

〈語法・文法〉 would は仮定法過去形で「もしそれが許されるなら」とか「仮にそのようなことになれば」といった仮定の気持ちが含まれていて、丁寧に遠慮がちな意向や推量を表わします。

ex. I would stay home all day today: It is horribly cold outside. 私なら今日は一日中家にいますね。外はものすごく寒いですよ。

make the most of …をできるだけ(有効に)利用する

ex. Make the most of what you have. あなたが持っているものを最大限活用しなさい。

次に、カナダ出身のジェニファー (Jennifer Wright) からのアドバイスを聞いてみましょう。

Jennifer Wright@English Language Academy (Canada)

10 My name is Jennifer

(So, Jennifer, could you please introduce yourself?)

Certainly! My name is Jennifer Wright. I'm the director of studies at the University of Auckland English Language Academy. So my role is I'm responsible for all of the academic programs, all of the teaching staff and the quality assurance of the teaching and learning.

Words & Phrases

Certainly! もちろん(いいですよ)、承知しました。

ex. May I ask you a question? Certainly! 質問してもいいですか。ええ、どうぞ。

cf. Certainly not! とんでもない。

the director of studies 教育部門の長 director は「長」を意味する語なので、学校長であるジェニファーの自己紹介においても、部門の長であるジェニファーの自己紹介においても同じ語が出てきます。しかし、ふたりの発音には違いが見られます。イギリス出身のジェニファーは、director という語を [dairéktə] と発音していたのに対し、カナダ出身のジェニファーは、[dəréktə] と発音していますね。

● **my role is I'm responsible for...** =my role is that I'm responsible for...

● 私の役割は…に責任をもつことです。

● ex. Mr Inoue is responsible for designing the entire project. 井上氏が計画全体の立案責任者です。

● **quality assurance** 質の保証 (品質保証)

11 Absolutely!

(So,...um...could you give some advice for the Japanese students wishing to study in New Zealand, especially...um...at the English Language Academy, please?)

Absolutely! Um...for students, Japanese students, or any students in fact, who are planning to study at the University of Auckland English Language Academy, they need to take advantage of all of the opportunities that are offered both inside and outside of the classroom because, as I said, learning doesn't stop when the class finishes. So what I mean by that is inside the classroom we have students from many different nationalities and students want to take all the opportunities they can to try to meet students of other nationalities. So when it's...there's a break time, to try not to just spend the break time with their friends from their own Japanese university but to try to go and to have a coffee with someone from another country or at least...an...a different Japanese university.

Words & Phrases

● **um** えー、あー、うーん 日常の会話では、次に何を言うか躊躇しているときの発声 (間投詞 [interjection]) が入る方がむしろ自然です。この教科書は、インタビューや実際の会話のシーンの中の間投詞をそのままの形で残しています。

● ex. Um, I guess so. うーん、私もそう思います。

● **Absolutely!** もちろん! cf. certainly

● **are planning to study** 勉強するつもりである plan to do には「すでにはっきりと~をする計画があること」が暗示されています。

● ex. I'm planning to buy a new car. 新車を買うつもりである (新車購入計画がすでに立っている)。

● cf. I'm thinking of buying a new car. 新車を買おうかと考えている。

● **take advantage of** (機会を) 利用する

● ex. Take advantage of today's special offer. 本日の特別価格でのご提供をお見逃しなく。

● **What I mean by that is...** =What I mean by that is that...

● それはどういうことかと言うと…ということです

● mean= …のつもりで言う、…と言おうとしている

● cf. What do you mean by that? それはどういうことですか。

● **take all the opportunities they can to** あらゆる機会をとらえて…する

● ex. You must take this opportunity to show what you can do. この機会をとらえて君の実力を見せなさい。

● **to try not to do...but to try to do...** …しないで、…すること (が大切です)

EXERCISES 空所補充

本文中で使われている単語を用いて英文を完成させましょう。

- この計画の責任者は誰ですか。
Who's [] for this project?
- 利用できるあらゆる機会をとらえなさい。
[] every opportunity available.
- 彼は議長の任を果たした。
He filled the [] of chairman.
- 私が言わんとすることは、ここで待っていても意味がないということだ。
What I [] is that there's no point in waiting here.
- オリンピック競技で一番大切なことは勝つことではなく、参加することである。
The most important thing in the Olympic Games is [] to win
[] to take part.
- 彼に会うつもりはない。
I do not [] to meet him.
- 元気(勇気)を出しなさい。
Be []!
- 私たちは言われた通りにした。
We did [] we were told.
- 今日一日休んでもいいですか。(もちろん) いいですよ。
Can I have a day off today? [].
- 今日一日休んでもいいですか。とんでもない。
Can I have a day off today? [] not.

異文化理解 — 基礎編

ELAで1カ月の英語研修プログラムに参加することになったら、いつ(何月)に行きたいと思いますか。それはなぜですか。

クラスで出会った外国人留学生に、日本について質問されたら、英語でこたえられますか?まず、下記のリストをつかって、チェックしてみましょう。

- 1) 日本のどこ(どの地域)出身なの?
(Which part of Japan are you from?)
(Which prefecture in Japan are you from?)
(Which city in Japan are you from?)
- 2) あなたの出身地は日本のどのあたりにあるの?
(In which part of Japan is your hometown located?)
(Where in Japan is your hometown located?)
- 3) あなたの出身地は何で有名なの?特産品はある?
(What is your hometown famous for? Any local specialties?)
- 4) 日本の人口は?あなたの出身地の人口は?
(How many people are there in Japan? How about your hometown?)
- 5) あなたの大学には学生が何人くらいいるの?先生は何人くらい?
(How many students does your university have? How many teachers/professors?)

異文化理解 — 応用編

クラスメートの留学生から訊ねられるかもしれない質問をいくつか用意しました。どこまで英語でこたえられますか?

- 1) 日本人ってどうして毎日バスタブにつかるの?
(Why do Japanese people take a bath every day?)
- 2) 日本に行くとしたら、東京と京都、どっちに先に行くべき?
(When I travel to Japan, where should I visit first, Tokyo or Kyoto?)
- 3) オススメのアニメ、おしえて!
(Could you / Can you recommend me your favorite *anime*, please?)
(What's your favorite *anime*?)